

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、12月定例会では18名の議員が一般質問を行いました。
 ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。
 一般質問の全文は、2月中旬作成予定の議会記録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「議会記録検索システム」でご覧ください。

観光行政について

観光行政について、次の質問が行われました。

質問：東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、外国人を含めた多くの人が訪れることが予想されるが、市としてどのような対応を行うのか。

共創計画部長：まずは大会組織委員会や神奈川県などと情報共有や意見交換を行い、市民や来訪者が安全に安心して過ごせる環境をつくっていききたい。併せて関係各課と連携し、観光客を含めた来訪者の受け入れ環境の充実にも取り組んでおり、鎌倉駅東口、西口駅前広場の整備、観光案内板やサイン表示の多言語化などの充実、トイレのバリアフリー化の推進、キャッシュレス化の推進、WiFi接続環境の整備などを進めている。大会期間中、市民の皆さまが安全で快適に過ごせる環境をしっかりと整えていきたい。

質問：外国人観光客の動向を把握することが重要であり、その動向を分析し、今後の観光施策に活用していく必要があると考えるがどうか。

質問：市内の観光案内板の表示内容について、多言語での表記やピクトグラム(※)の採用は行っているか。

本庁舎整備について

市役所本庁舎の整備について、次の質問が行われました。

質問：11月臨時会において「本庁舎整備に関する住民投票条例を制定する議案」が否決されたがどのように考えているか。

行政経営部長：本庁舎整備の取り組みについては市民対話やパブリックコメントを実施するとともに、検討状況を広報紙やホームページに掲載したほか、公共施設再編ニュースの発行、シンポジウム、説明会、出前講座の実施など情報共有や意見聴取に努めてきたが、直接請求がなされたことは大変重く受け止めている。これまでの検討経過などがまだ理解されていなかったというところは反省すべきであると受け止めている。

質問：広報やホームページに掲載された文言の使い方も配慮しなければならない。

同部長：現行の観光案内板等の表示内容は、基本的に日本語、英語、中国語、韓国語で表記し、ピクトグラムの表示ができていないものについては、老朽化などの状況も踏まえ、平成30年4月に策定された鎌倉市公共サインガイドラインに沿った仕様に順次改修を行う。

質問：外国人からの救急要請について、119番通報への外国語対応を聞きたい。

消防長：消防本部では、日本語での通報が困難な方に対応するため、119番通報時に多言語通訳サービス

時々に合わせて広報してきたということだが、結果的にうまく伝わらなかったと考える。何か対策をとるべきと思うがいかがか。

同部長：引き続き、情報発信を行うっていくとにも出前講座などを開催できるように積極的に働き掛けていきたい。今後は基本構想の素案のパブリックコメント、その後の基本構想策定へと取り組みを進めていく予定であり、ホームページのバナー表示も進捗状況に合わせて工夫していきたい。

質問：本庁舎を移転する理由は防災の観点でよいのか。

同部長：本庁舎について移転して整備する方針を平成29年3月に決定した。その理由として災害対応力や受援力に課題があること、本庁舎としての必要な規模を確保できないこと、仮庁舎の整備や引っ越し費用がかかることが大きな理由である。

質問：外国人救急搬送の体制はどうなっているか。

消防長：多言語とイラストにより5カ国語対応しているコミュニケーションボードを救急車に配備し、外国人対応に活用している。

【用語の解説】
 ※ピクトグラムについて
 絵記号、絵単語。視覚的な図による表現で内容の伝達をするもの。言語の種別を問わず直感的に情報伝達が可能となる。日本工業規格(JIS)で定められたもの、標準案内用図記号が使用されている。

質問：現在の本庁舎、深沢の用地の現状認識を聞きたい。

同部長：現在の庁舎は大地震、倒壊の恐れはないが、業務継続には不安がある状況である。庁舎周辺が津波浸水想定区域に入っているため、道路が寸断する可能性が高いと認識している。深沢の用地は液状化の恐れはないと認識している。洪水浸水の想定区域に入っているため、そうした災害のときには周辺道路に支障が出てくると認識している。

質問：被災リスクのある所に移転させるには、しかるべき理由を示す必要があると考えるがいかがか。

市長：深沢については浸水について十分な議論ができていないところであり、改めてきちんと議論していく必要があるという認識の下、進めているところである。全体として安全なまちづくりに資することが実現できる役割を本庁舎が担えるように、今後も引き続き的確な情報提供も含めて取り組みを進めていきたい。

質問：被災リスクのある所に移転させるには、しかるべき理由を示す必要があると考えるがいかがか。

- ① 永田 磨梨奈 (鎌夢会)
 - 1 鎌倉ワークスタイル・ライフスタイルについて
 - 2 子育て支援について (産前・産後ケア・放課後かまくらっ子等)
 - 3 東京オリンピック・パラリンピックへの対応について
- ② 武野 裕子 (日本共産党)
 - 1 中小零細事業者を応援する経済政策について
 - 2 市役所移転問題について
- ③ 千 一 (無所属)
 - 1 鎌倉駅東口から西口への通り抜けについて
 - 2 鎌倉駅西口から鎌倉市福祉センターまでの点字ブロックの整備について
 - 3 身体障がい者が中心のグループホームについて
 - 4 川崎市と違う重度訪問介護のあり方について
- ④ 日向 慎吾 (鎌夢会)
 - 1 2020年とその先を見据えた対策について (地域活性化、環境、防災、民泊)
- ⑤ 長嶋 竜弘 (無所属)
 - 1 鎌倉市政に異論反論オブジェクトVOL.5
- ⑥ 池田 実 (鎌倉みらい)
 - 1 本市の集中豪雨対策について
 - 2 深沢地域整備事業の進捗状況について
- ⑦ 竹田 ゆかり (無所属)
 - 1 共生条例の制定にあたって
 - 2 教育環境条件整備について
 - 3 学校の働き方改革について
 - 4 庁舎管理について
- ⑧ くりはら えりこ (無所属)
 - 1 市民の健康について (SDGs目標3)
 - 2 生涯学習の環境づくりについて (SDGs目標4)
 - 3 市役所と行政の継続性について (SDGs目標11)
- ⑨ 飯野 眞毅 (無所属)
 - 1 まちづくりについて
 - 2 北鎌倉隧道について
 - 3 防災問題について
 - 4 インフラ整備について
 - 5 小中学校の教育環境について
 - 6 居場所づくりについて
- ⑩ 吉岡 和江 (日本共産党)
 - 1 共生社会に向けた取り組みについて
 - 2 国民健康保険事業について
 - 3 健康に暮らせる町づくりについて
- ⑪ 高橋 浩司 (鎌夢会)
 - 1 広聴・広報活動について
- ⑫ 納所 輝次 (公明党)
 - 1 観光危機管理の充実について
- ⑬ 安立 奈穂 (神奈川ネット鎌倉)
 - 1 子どもたちの健康を守る化学物質対策と受動喫煙防止策について
- ⑭ 保坂 令子 (神奈川ネット鎌倉)
 - 1 テレワークについて
 - 2 職員研修について
 - 3 公文書管理と行政情報の提供について
 - 4 本庁舎整備事業の進め方について
- ⑮ 松中 健治 (無所属)
 - 1 明治150年に関連し。
- ⑯ 久坂 くにえ (ヴィジョン)
 - 1 鎌倉市の人事戦略について
- ⑰ 西岡 幸子 (公明党)
 - 1 レジリエンス(しなやかな強さ)と“逃げる力”を育む
- ⑱ 山田 直人 (鎌倉みらい)
 - 1 第4期基本計画について
 - 2 第3期基本計画及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

一般質問項目一覧